これまでの取り組み(経過)

■御殿山駅周辺の現状と課題(当時)

- ・平成29年9月22日 御殿山駅周辺の安全対策に関する決議
- ・平成 29 年 10 月 12 日 4 校区コミュニティ協議会より、交通安全対策について要望書
- ·平成 29 年 10 月 18 日、殿一小学校へ登校中の列に車が突っ込み、児童を含む6名が けが
- ・平成29年10月25日4校区コミュニティ協議会より、交通安全対策について要望書

御殿山駅周辺の交通安全対策のあり方について、行政、地域、関係機関と現状把握、課 題を共有し、協働、連携しながら安全安心な交通環境の実現に向けた取り組みを進める ため、ワークショップを設立し、対策案を検討

■御殿山駅周辺の交通安全対策に関するワークショップ

○構成メンバー

4校区 C(殿一、磯島、高陵、中宮北)、枚方警察、大阪府、京阪電鉄、関西外大、 枚方市

〇開催状況

平成 29 年 12 月~平成 30 年 12 月 計 5 回開催

〇市長報告: 平成 30 年 12 月 21 日(金) WS構成メンバー

■御殿山駅周辺の交通安全対策に関する意見交換会

〇構成メンバー ワークショップと同じ

〇開催状況

令和元年度、令和2年度 計2回開催

進捗確認·課題整理



■未実施の対策について

·対策 A: 踏切遮断時間の短縮

(方針)京阪電鉄より、鉄道運行の安全性に問題があり不可【意見交換会で確認済】

・対策 B·C: 踏切の一方通行、踏切内の歩道拡幅、カラー舗装

(課題)関係する地域の同意・承諾が必要

(R3・4年度の取組み)4回の協議を実施(関係5校区 C)

(方針)・一方通行化の地元合意は困難なため、一方通行に替わる対策案を検討

→ 対策 B·C は不可(C は現状の歩道空間内でカラー舗装のみ施工)

■その他について

・タイル舗装の改修、点字ブロックの設置、駅前ロータリー改修

今後の予定について

意見交換会は終了し、踏切の安全対策について、必要な関係機関と個別に協議を行う



	対策	主体	協力	効果	状況
A	大阪方面行の列車通過後の遮断終了時間を早める	京阪	_	交通渋滞の緩和と改札口であふれる利用者の減少	不可
В	踏切の一方通行化(京都守口線→渚第1号線)	住民	警察·市	通過交通の減少および車両踏切待ちの渋滞の解消	未→不可
C	踏切道内の歩道の拡幅・カラー舗装	市·京阪	警察	Bと合わせての実施により踏切内の歩行空間を拡大	未→不可
D	ロータリーの出入口部に歩道と横断歩道の設置	市·住民	警察	斜め横断防止と歩道整備	済
E	イメージハンプの設置	市	警察	車両のスピード抑制	済
F	歩行者滞留空間の確保	市	警察	歩行者の滞留空間拡大と車両の左折をさせにくくすることでスピード抑制	済
G	ポストコーンの設置	市	警察	路上駐車の減少(ハード対策)	済
Н	イメージハンプの設置	市	警察	車両のスピード抑制	済
I	自転車通行レーンの整備	市	警察	歩道内での歩行者と自転車の交錯の回避と路上駐車の抑制	済
J	路上駐車の取り締まりの強化	警察	_	路上駐車の抑制(ソフト対策)	済
K	外大へのマナー周知	外大	_	通行マナー向上と団地内への自転車通り抜け禁止の周知	済